

丹羽博士が他界されて、博士が長年の研究により積み上げてきた膨大な情報・データという財産が失われてしまうと心を痛めておりましたが、幸いたくさんの著書を残して下さったことに気づき、改めて読み返しをしています。

著書のエッセンスを皆様と共有することで、多くの方が健康長寿のお役に立てていただければ幸いです。

今回は、活性酸素とこれを取り除く SOD 酵素について、人間も自然のしくみの中で生かされている一つの存在にすぎないことに気づかせてくれる 1 冊「**激増活性酸素が死を招く**」から抜粋してお届けします。



丹羽耕三博士の から学ぶ



「はじめに」

3P

人類の進化とともに、人類の叡智によって培われた近代文明は、生活の合理化をはじめ、現代文明の数々の恩恵を受けた私たちの生活は、明治、大正はもちろん昭和十～二十年頃までの人々には夢想不到にされなかった、すばらしい、極度に近代化、合理化されたものとなってきています。

同じく生活の合理化のために開発した加工食品も、活性酸素と同様に身体に有害な過酸化脂質を生体に提供し、発癌や成人病の増加を助長しています。また、さらに食品(豆腐・牛乳など)を腐敗させずに何日も鮮度が保たれる目的で添加している防腐剤は、細胞の新陳代謝を抑制するために、細菌やカビなどの発育を阻止しますが、当然全ての正常な細胞の発育も抑制・ダメージを与え、様々な悪影響をもたらしています。強力で有効な化学薬品の開発と長期使用は、数多くの薬害・医原病の発生を招いているのです。

丹羽耕三博士プロフィール



昭和7年大阪生まれ
昭和37年京都大学医学部卒業
京都大学医学博士
土佐丹羽クリニック院長
丹羽免疫研究所所長
令和4年没(享年89歳)

活性酸素と SOD 研究の世界的権威。
国際医学雑誌に発表された英文研究論文は 70 編を超す。
西洋医学の限界を知り、自然の植物・穀物から独自の生薬を開発し、全国の診療所でがんや膠原病、リウマチ、アトピーなどに大きな治療効果を上げてきた。
多くの臨床例に裏付けられたユニークな講演には定評があり、学会の座長および招待講演活動が多い。
また、複数の著名な国際医学雑誌への投稿論文の審査員を30年以上務めた。

表1. 活性酸素産生因子の分類

6P

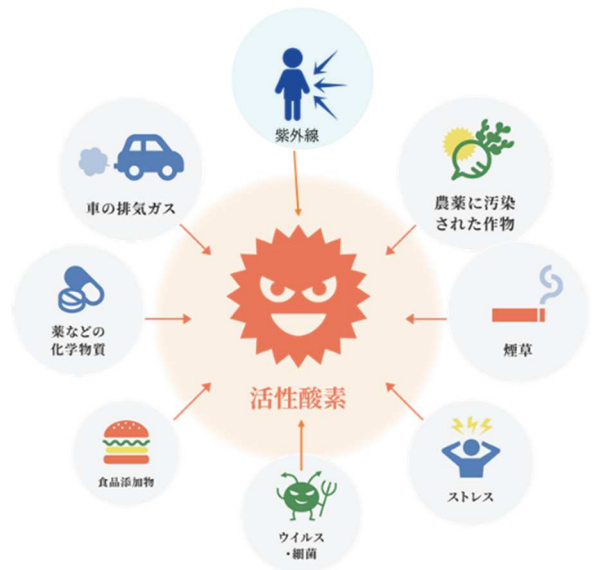
- (1) 自己防衛上の侵入細菌を どんしょく 食し、活性酸素を発生
食細胞
- (2) クロロフィルなどの増感物質で活性酸素を発生
紫外線
- (3) 細胞の核の DNA で OH・ を発生
放射線・化学物質の一部
- (4) 細胞のいたる所で活性酸素を発生
化学物質の大部分
- (5) 血管の栓塞時
キサンチン デヒドロゲナーゼ
Xanthine dehydrogenase
キサンチン オキシダーゼ
→ xanthine oxidase
→ 活性酸素を発生

活性酸素とは、元来、人間も含めた動物・植物の体内にあって、細菌・カビ・ウィルス・異物などが体内に侵入してきた際、これを殺して（溶解させて）体を守る役目をする化学物質ですが、体内で増加し過ぎると、逆に自分の体の組織をも細菌や異物のように攻撃するというジキルとハイド（Jekyll and Hyde）の両面を持った物質です。

この活性酸素が増加し過ぎて、自分の身体の細胞や臓器を攻撃しようとした場合、動・植物の体内にある S O D

スーパー オキシド ディスムターゼ（super oxide dismutase）という酵素が、過剰に増加した活性酸素を除去させる働きをする仕組みになっています。約 90 パーセントの病気が直接、あるいは間接的に増産された活性酸素によって惹き起こされたといっても過言ではない状態です。

【活性酸素の発生要因】



著者は従来から、生活の合理化の美名のもとに行う自然の摂理に反した科学文明から生まれる環境汚染と、それによってもたらされた多くの疾病の発生を心から憂う“自然回帰”論者の一人です。

草が生えれば自分の手で抜けばよい。食事の調理は食事のつど行えばよい。洗濯は自分の手を使って汚れを落とせばよい。大地から得た食糧を食し排泄物（大・小便）は土に戻すべきだ。

野生動物や、家畜に、癌・成人病が見られないという事実です。

薬害のある化学薬品を使わずとも、神様は、天然の植物・種子の中に、充分有効で必要な良薬を与えて下さっているのです。天然の植物種子に含まれている全ての病気に有効な物質を活性化させる力を失ってしまったのです。

その結果、薬害をもたらし化学薬品の開発と服用を余儀なくされてしまいました。



著者の専門とする活性酸素・S O Dの研究の観点から、環境汚染によって発生する恐ろしい疾病像を皆さんに平易に解説し、その治療に薬害のある化学薬品を用いずに対処するにはどうすればよいかを詳しく説明します。

著者が、十数年間研究と開発を行ってきた恐ろしい活性酸素を除去する S O D 様作用物質の正しい知識を皆さんにお伝えし、本書が環境汚染・公害・薬害の社会に生きる皆さんの“健康教室”にならんことを念じる次第です。



医学博士 丹羽鞠負 著
日本テレビ HEALTHY BOOK

編集後記

今回の書籍はタイトルこそ過激ですが、病気の原因活性酸素について発生原因とその功罪まで具体的に書かれています。発刊当初、表紙の死神のイラストが苦手で、なかなか手にすることができなかったことを懐かしく思い出しました。

今号では、この書籍を発刊した時の博士の思いを載せた「はじめに」を抜粋しています。次号では、活性酸素とこれを除去する S O D 酵素と S O D 様食品を Q & A 方式で掲載する予定です。

前田美恵子【35 年に亘り、免疫療法の権威丹羽耕三博士に師事して得た知識をもとに、全国で開催される健康セミナーの講師を務める】